



2023年6月22日

各 位

会 社 名 小松ウオール工業株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 加納 慎也
(コード：7949、東証プライム市場)
問 合 せ 先 取締役常務執行役員
管理本部長 綾 由紀夫
(TEL. 0761-21-3234)

取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、コーポレートガバナンス・コードに基づき、取締役会の実効性を高め、取締役会の機能をより一層向上させることを目的として、第56期の取締役会の実効性に関する評価を実施いたしましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

記

1. 分析・評価の方法

取締役10名（うち社外取締役4名）に対し、無記名方式のアンケートを実施し、全員からの回答を得ました。アンケートでは、各項目への評価だけでなく、評価理由や改善を検討すべき点などの自由記載欄を設け、意見聴取を行っております。各評価項目に対する回答の集計結果及び意見をもとに、取締役会において分析・評価を行うとともに、今後の取り組み等について協議いたしました。

【アンケートの評価項目】

- (1) 取締役会の構成
- (2) 取締役会の運営
- (3) 取締役会の議題
- (4) 取締役会を支える体制
- (5) コーポレートガバナンス・コード関連
- (6) その他

2. 分析・評価結果の概要

前項における分析の結果、当社取締役会はその職務・責務に照らし、概ね適正に機能しており、取締役会の実効性は概ね確保されていると判断いたしました。

一方、取締役会の実効性をより一層高めていくために取り組むべき課題について、以下のとおり認識いたしました。

- ・資本コストや資本収益性及び長期的な成長戦略に関する議論の充実

また、前回の評価において課題として挙げられた、中長期的な経営戦略に関する議論の充実及びサステナビリティを巡る課題に対する議論の充実については、第56期の取締役会及び役員研修会等において複数回にわたって議論がなされ、充実が図られております。今後も引き続き取り組みを継続してまいります。

3. 今後の対応

上記の分析・評価結果を踏まえ、今後も取締役会での議論を更に充実させ、取締役会の実効性の確保に一層努め、コーポレートガバナンスの充実と企業価値の持続的な向上を目指してまいります。

以 上